

令和元年 8 月 1 日

各 位

会社名 トラスコ中山株式会社
 代表者名 代表取締役社長 中山 哲也
 (コード 9830 東証一部)
 問合せ先 取締役 経営管理本部長 中井 一雄
 (TEL. 03-3433-9840)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 31 年 2 月 7 日の平成 30 年 12 月期決算発表時に公表した業績予想及び配当予想の修正を決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 令和元年 12 月期第 2 四半期業績予想数値の修正

(1) 令和元年 12 月期第 2 四半期連結業績予想 (平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 112,831	百万円 7,412	百万円 7,547	百万円 5,129	77 円 78 銭
今回修正予想 (B)	109,566	6,960	7,102	4,807	72 円 89 銭
増減額 (B-A)	△3,265	△452	△445	△322	
増減率 (%)	△2.9	△6.1	△5.9	△6.3	

(2) 令和元年 12 月期第 2 四半期個別業績予想 (平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 112,700	百万円 7,448	百万円 7,583	百万円 5,157	78 円 20 銭
今回修正予想 (B)	109,396	6,984	7,121	4,831	73 円 26 銭
増減額 (B-A)	△3,304	△464	△462	△326	
増減率 (%)	△2.9	△6.2	△6.1	△6.3	
(参考)前年同期間実績 (平成 30 年 1 月 1 日～ 平成 30 年 6 月 30 日)	104,877	6,968	7,089	4,778	72 円 46 銭

※子会社のトラスコナカヤマ タイランド及びトラスコナカヤマ インドネシアの業績予想は平成 31 年 2 月 7 日の平成 30 年 12 月期決算発表時に公表した業績予想から変更ありません。

2. 令和元年12月期通期業績予想数値の修正

(1) 令和元年12月期通期連結業績予想(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 233,294	百万円 14,929	百万円 15,179	百万円 10,254	155円49銭
今回修正予想(B)	225,894	14,178	14,428	9,703	147円14銭
増減額(B-A)	△7,400	△751	△751	△551	
増減率(%)	△3.2	△5.0	△4.9	△5.4	

(2) 令和元年12月期通期個別業績予想(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 233,000	百万円 15,000	百万円 15,250	百万円 10,300	156円19銭
今回修正予想(B)	225,600	14,250	14,500	9,750	147円85銭
増減額(B-A)	△7,400	△750	△750	△550	
増減率(%)	△3.2	△5.0	△4.9	△5.3	
(参考)前年同期実績 (平成30年1月1日～ 平成30年12月31日)	214,297	14,364	14,642	9,722	147円44銭

※子会社のトラスコナカヤマ タイランド及びトラスコナカヤマ インドネシアの業績予想は平成31年2月7日の平成30年12月期決算発表時に公表した業績予想から変更ありません。

3. 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想(平成31年2月7日)	19円50銭	19円50銭	39円00銭
今回修正予想	18円50銭	18円50銭	37円00銭
前期実績(平成30年12月期)	18円50銭	18円50銭	37円00銭

4. 修正の理由

国内の製造業を中心としたモノづくり現場においては、半導体関連需要の低迷や中国経済の減速に伴い、生産用機械、自動車関連などの生産活動が減速しました。さらに、設備投資需要の鈍化や人手不足の深刻化が進んだことから企業収益は低調に推移しました。

このような環境下で当社は、モノづくり現場で必要とされる少量多品種・高頻度の商品ニーズに的確にお応えするために、積極的な設備投資を継続し、戦略的な在庫アイテムの拡充を進めましたが、売上高及び売上総利益は、期首の業績見込みを下回るペースで推移しています。下期(令和元年7月1日～12月31日)についても、売上高の大幅な拡大が望めず、販売費及び一般管理費に関しても、大幅に減少することは想定されないため、平成30年12月期決算発表時に公表した業績予想を上記のとおり修正し、それに伴い、配当予想の修正を行うものです。

(注)業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上